Kashimura
BL-7

保管用
保証書付

Bluetoothインナーイヤホンマイク
DC充電

取扱説明書

もくじ

安全上のご注意 …… 1 ｜ 使用方法（初めて使用する場合）- 6
警告 …… 2 ｜ お知Bluetooth搭載機種のペアリング方法 - 7~11
注意 …… 3 ｜ 使用方法 …… 12~13
各部の名称と働き …… 4 ｜ 故障かな？と思ったら …… 14
使用上のご注意 …… 5 ｜ 保証書 …… 15

＊お買い上げありがとうございました。
＊ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
＊お読みになった後は、大切に保管してください。

安全上のご注意

必ずお守りください。

＊ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
＊ここに示した注意事項は製品を安全に正しくお使いいただき、使用者や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。
＊また注意事項は次のように区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

表示の説明

⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が障害を負う可能性が想定される内容や物質的損害の発生が想定される内容」を示しています。

記号の説明

❗	この記号は必ず実行していただく内容を示しています。
🚫	この記号はおこなってはいけない内容を示しています。

⚠危険

🚫	＊耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと聴力に悪影響を与えることがあります。耳を守るため音量を上げすぎないようにご注意ください。
❗	＊走行中の携帯・自動車電話機の使用は法律で禁止されていますので万が一電話をかける場合は安全な場所に停車してから携帯電話機の操作をおこなってください。
🚫	＊走行中はハンズフリー通話以外には使用しないでください。
🚫	＊航空機の運行に支障をきたすおそれがありますので、本製品は機内で使用しないでください。

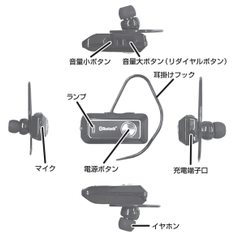
⚠警告

❗	＊本製品を正常にご使用中、異臭・発煙・変形などの異常が起きた場合には、ただちに本製品の使用を中止してください。（感電・火災・事故の原因となります。）
🚫	＊熱器具の近くや直射日光の当たる所で本製品を充電したり、放置しないでください。（火災・事故の原因となります。）
❗	＊本製品を充電する際は必ず付属されているDC充電器および、USBケーブルをご使用ください。（火災・故障の原因となります。）
❗	＊本製品のDC充電器とUSBケーブルは本製品専用となります。本製品以外の充電には使用しないでください。DC充電器は12V/24V、USBケーブルはUSB端子5V以外では使用しないでください。（事故・故障の原因となります。）
🚫	＊自動車内で使用した場合、車種により車載電子機器に影響を与える場合があります。安全運転を損なうおそれがありますので、そのような場合は使用しないでください。（事故・故障の原因となります。）
❗	＊充電終了後は必ずUSBケーブルから本製品を外し、USBケーブルをUSB端子から抜いてください。（火災・事故の原因となります。）
🚫	＊USBケーブルのコードや端子が痛んだり、USB端子の差し込みがゆるいときは使用しないでください。（感電・ショート・発火の原因となります。）
🚫	＊USBケーブルのコードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものをのせたり、はさみ込んだり、加工したり、本体に巻きつけたりしないでください。（感電・ショート・発火の原因となります。）
🚫	＊子供だけで使わせたり、幼児の手の届く所では使用しないでください。（事故やけがをするおそれがあります。）
🚫	＊水につけたり、ぬらしたりしないでください。また湿気の多い所やぬれた手で使用しないでください。（感電・ショート・発火の原因となります。）
🚫	＊絶対に分解・修理・改造をしないでください。（発火や異常動作によるけがの原因となります。）

⚠注意

❗	＊窓を閉めきった自動車のややダッシュボードの上などの直射日光があたる場所や工アコンの吹出口などの異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。（感電・発火の原因となります。）
❗	＊USB端子からUSBケーブルを抜く時は、必ずUSB端子部を持って抜いてください。（感電やショートして発火することがあります。）
❗	＊落としたり、ぶつけたりして破損した場合は使用しないでください。（感電・発火の原因となります。）
❗	＊充電完了後に長時間USBケーブルをUSB端子に接続したままにしないでください。また充電終了後は必ずUSB端子からUSBケーブルを抜いてください。（感電・故障の原因となります。）
🚫	＊調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気があたる場所には置かないでください。（事故・故障の原因となります。）
🚫	＊イヤホンパッドはしっかり取り付けてください。イヤホンパッドがはずれて耳に残るとけがや病気の原因となることがあります。
❗	＊イヤホンマイクが合わないと感じたときは早めに使用を中止し医師または弊社の相談窓口、お買い上げ店にご相談ください。
🚫	＊イヤホンマイクは音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。雑音の多い所では音量を上げてしまいがちですが、イヤホンマイク使用中はいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。
🚫	＊子供の手の届く所には保管しないでください。（事故・ケガの原因となります。）
🚫	＊湿気の多い所には保管しないでください。（絶縁劣化により感電することがあります。）

各部の名称と働き



右耳で使用する場合

＊左耳用になっている耳掛けフックを取り外し、右耳用に付け替えてください。
＊取り替える際は耳掛けフックが折れないように丁寧に扱ってください。

製品仕様

※動作時間は使用環境によって異なります。

無線方式	Bluetooth Ver.2.0+EDR
対応プロファイル	ヘッドセット（HSP）/ハンズフリー（HFP）
無線距離	約10m以内
電源供給	リチウムポリマー電池
充電時間	約2時間 ※
連続使用時間	最大約3時間（待ち受け最大約100時間）※
外観寸法と重量	40.2W×19H×30.2D　8g（耳掛けフック除く）
動作環境	温度0~45℃（結露しないこと）
付属品	DC充電器/USBケーブル/耳掛けフック/イヤホンパッドS,M,L

使用上のご注意

良好な通信のために

＊接続機器とは見通し距離で約10m以内で通信してください。建物の構造や障害物によっては通信距離が短くなる場合があります。特に鉄筋コンクリートなどを挟むと通信できないことがあります。
＊電気製品（AV機器・OA機器・電子レンジなど）から3m以上離して通信してください。テレビやラジオなどの場合は、受信障害になる場合があります。
＊無線機や放送局の近くなどで正常に通信ができない場合は、通信場所を変更してください。
＊接続機器からの接続要求に応答するために、低電力ではありますが常に電力を消費しますので使用しないときは電源をOFFにすることをお勧めします。

内蔵電池について

＊3時間以上の長時間の充電はしないでください。
＊電池は寿命があり消耗品ですので、保証対象外となります。
＊十分に充電した電池で使用時間が著しく短くなってきたり、ご利用いただけない場合は電池の寿命となります。

使用する電波について

2.4 FH 1
使用電波帯：2.4GHz
変調方式：FF-SS
与干渉距離：10m

＊本製品は2.4GHz帯域の電波を使用しています。
本製品を使用する上で無線局の免許は必要ありませんが以下の場合や製品の近くでは使用しないでください。

※病院内・電車内・航空機内・ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
※電子レンジ・ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器など
※自動ドア・火災報知器など
※工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
※特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
※IEEE802.11b/g無線LAN機器

上記の機器などはBluetoothと同じ電波の周波数帯を使用しています。上記の近くで本製品を使用すると電波の干渉を発生するおそれがあります。この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器等のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運営されています。

使用方法（初めて使用する場合）

付属のDC充電器とUSBケーブルを使用して本製品を充電します。
＊本体のランプが赤色に光ると充電が開始されます。
＊充電中に本製品を使用することはできません。
＊充電が終了すると本体のランプは消えます。
（充電時間の目安は電池切れの状態で約2時間）

ペアリング（初期設定）をします。
7～11ページに主なBluetooth搭載機種のペアリング方法が書いてありますので下記の内容と合わせてご確認ください。

❶本製品の電源がOFFになっていることを確認してください。
❷電源ボタンを約6～8秒間押し続けて、電源ランプが**赤・青交互の点滅**になったら離してください。
（赤・青交互の点滅がペアリング可能な状態となります。）
❸使用する携帯電話機のBluetooth機能設定にてペアリング可能な機器を検索してください。検索方法は携帯電話機により異なりますので、詳しくは携帯電話機の取扱説明書をご参照ください。
❹検索画面に「AE-123」「BL-3」「BL-7」のいずれかが表示されますので表示された番号を選択してください。
❺認証のためにパスキーの入力が必要になりますので「0000」とゼロ4つを入力してください。機器の種類の選択を要求された場合は「ハンズフリー」を選択してください。「ハンズフリー」以外を選択し使用した場合は機能が正常に動作しない場合があります。
＊「パスキー」という表記名は携帯電話機の機種により異なりますので詳しくは携帯電話機の取扱説明書をご参照ください。
❻本製品の電源ランプが青色点滅になったらペアリング設定は終了です。
＊ペアリング設定中に間違えてしまったり、ペアリングを失敗してしまった場合はもう一度始めからやり直してください。
＊本製品に対して使える携帯電話機は1台となります。2台以上の携帯電話機とペアリングする事は可能ですが、2台同時に使う事はできません。

自動電源OFF機能について

＊本製品には電池の消耗を抑えるために自動電源OFF機能がついています。
ペアリングが解除になってから10分以上経過した場合は本製品の電源は自動的にOFFになります。本製品の電源がOFFになってしまった場合は電源を入れ直してください。

電池切れについて

＊電池が無くなると赤色ランプが5秒ごとに点滅しイヤホンから電子音が鳴ります。
電池切れになった場合には付属品のDC充電器とUSBケーブルを使用して充電してください。

主なBluetooth搭載機種のペアリング方法

＊ペアリングする時は、本製品のランプを赤・青の交互点滅にした状態でおこなってください。
＊文章中の「○○-○」については「AE-123」「BL-3」「BL-7」のいずれかになります。

NTT docomo

発売	NEC N-06C	NEC MEDIAS	NEC N-05C/03C/02C/08B
ペアリング設定方法	メニュー ↓ 本体設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth設定 ↓ デバイスのスキャン ↓ 「○○○」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth設定 ↓ デバイスのスキャン ↓ 「○○○」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	メニュー ↓ LifeKit　便利ツール ↓ Bluetooth ↓ 新規機器登録 ↓ 「○○○」と表示された番号を選択 ↓ Bluetooth/パスキー「0000」を入力 ↓ 「ハンズフリー」を選択 ↓ 別のサービスにも接続しますか？「NO」を選択 ↓ 接続完了
発売	シャープ SH-12C	シャープ LYNX（SH-03C/10B）	シャープ SH-05C/07B/03B/02B
ペアリング設定方法	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth設定 ↓ デバイスのスキャン ↓ 「○○○」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	メニュー　メインメニュー ↓　↓ 設定　設定 ↓　↓ 通信　無線とネットワーク ↓ Bluetooth設定 ↓ 新規デバイス登録 ↓ 「○○○」と表示された番号を選択 ↓ Bluetooth/パスキー「0000」を入力 ↓ 接続完了	メニュー ↓ LifeKit　便利ツール ↓ Bluetooth ↓ 新規機器登録 ↓ 「○○○」と表示された番号を選択 ↓ Bluetooth/パスキー「0000」を入力 ↓ Bluetoothメニューの「機器リスト・接続・切断」リストから登録した「○○○」と接続 ↓ 接続完了

＊文章中の「○○-○」については「AE-123」「BL-3」「BL-7」のいずれかになります。

NTT docomo

発売	ソニー Xperia(SO-02C/01C)	LG L-07C	パナソニック P-05C/06B/04B/02B
ペアリング設定方法	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth設定 ↓ 端末のスキャン ↓ 「○○○」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth設定 ↓ Bluetooth機器のスキャン ↓ 「○○○」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	メニュー ↓ LifeKit　便利ツール ↓ Bluetooth ↓ 新規機器登録 ↓ 「○○○」と表示された番号を選択 ↓ Bluetooth/パスキー「0000」を入力 ↓ 「ハンズフリー」を選択 ↓ 別のサービスにも接続しますか？「NO」を選択 ↓ 接続完了
発売	サムスン GALAXY S II/GALAXY S	東芝 REGZA（T-01C）	富士通 F-10C/09C/03C/02C
ペアリング設定方法	メニュー ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth設定 ↓ デバイス検索 ↓ 「○○○」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	メニュー ↓ 設定 ↓ ワイヤレス設定 ↓ Bluetooth設定 ↓ 端末のスキャン ↓ 「○○○」と表示された番号を選択 ↓ Bluetooth/パスキー「0000」を入力 （省略される場合があります。） ↓ 接続完了	メニュー ↓ 便利ツール ↓ Bluetooth ↓ 新規機器登録 ↓ 「○○○」と表示された番号を選択 ↓ Bluetooth/パスキー「0000」を入力 ↓ Bluetoothメニューの「機器リスト・接続・切断」リストから登録した「○○○」と接続 ↓ 接続完了

＊文章中の「○○-○」については「AE-123」「BL-3」「BL-7」のいずれかになります。

au

発売	ソニー IS11S	カシオ IS11CA	東芝 REGZA（IS04）
ペアリング設定方法	メニュー ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth設定 ↓ 端末のスキャン ↓ 「○○○」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	メニュー ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth設定 ↓ デバイスのスキャン ↓ 「○○○」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	メインメニュー ↓ 設定 ↓ ワイヤレス設定 ↓ Bluetooth設定 ↓ 端末のスキャン ↓ 「○○○」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了
発売	シャープ IS12SH	シャープ INFOBER A01/IS11SH	シャープ IS05/IS03
ペアリング設定方法	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth設定 ↓ デバイスのスキャン ↓ 「○○○」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	メニュー ↓ 端末設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth設定 ↓ デバイスのスキャン ↓ 「○○○」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	メインメニュー ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth設定 ↓ 新規デバイス登録 ↓ 「○○○」と表示された番号を選択 ↓ Bluetooth/パスキー「0000」を入力 ↓ 接続完了

＊文章中の「○○-○」については「AE-123」「BL-3」「BL-7」のいずれかになります。

au

発売	ソニー iida G11/BRAVIA（S005/S004）S007/URBANO MOND Cyber-shot（S006/S003）URBANO BARONE	ソニー iida G9/Cyber-shot（S001）/Premier3
発売	カシオ G'zOne TYPE-X CA005	シャープ SH004
発売	シャープ SH011/010/009/008/007	サンヨー W64/W63SA
発売	サンヨー SA002	カシオ CA004/003/002/001
発売	東芝 iida X-RAY / iida LIGHT POOL T008/007/005/004	日立 Hi-Vision CAM/H001/W63H
発売	日立 beskey	パナソニック P-001
発売	京セラ K009/007	
ペアリング設定方法	メニュー ↓ ツール ↓ Bluetooth ↓ 新規登録 ↓ 「○○○」と表示された番号を登録 ↓ Bluetooth/パスキー「0000」を入力 ↓ 接続完了	メニュー ↓ ツール　アクセサリ ↓　↓ Bluetooth ↓ 初期登録 ↓ ハンズフリー機器を登録 ↓ 「○○-○」と表示された番号と接続 ↓ Bluetooth/パスキー「0000」を入力 ↓ 接続完了

＊文章中の「○○-○」については「AE-123」「BL-3」「BL-7」のいずれかになります。

SoftBank

発売	シャープ 005/003SH	シャープ 004/002/001/945SH	東芝 921/920/912T
ペアリング設定方法	メニュー ↓ 端末設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth設定 ↓ 新規デバイス登録 ↓ 「○○○」と表示された番号を登録 ↓ Bluetoothパスキー「0000」を入力 ↓ 接続完了	メニュー ↓ ツール ↓ Bluetooth ↓ デバイス登録 ↓ 「○○○」と表示された番号を登録 ↓ Bluetooth/パスキー「0000」を入力 ↓ 接続完了	メニュー ↓ 設定 ↓ 外部接続 ↓ Bluetooth ↓ デバイス検索 ↓ 「○○○」と表示された番号と接続 ↓ Bluetooth/パスキー「0000」を入力 今後は確認せずこのデバイスと接続します。よろしいですか？Yesを選択 ↓ 登録済みデバイスから「○○○」を選択 ↓ メニューから接続を選択 ↓ 接続完了
発売	パナソニック 001/942/941/940P	NEC 001/940/931/930N	サムスン 941/940/931/930SC
ペアリング設定方法	メニュー ↓ ツール ↓ Bluetooth ↓ 検索・登録デバイスリスト ↓ 検索 ↓ 「○○○」と表示された番号を登録 ↓ 携帯電話機の端末固証番号を入力 ↓ Bluetoothパスキー「0000」を入力 ↓ 「ハンズフリー」を選択 ↓ 別のサービスを追加しますか？「NO」を選択 ↓ 接続完了	メニュー ↓ ツール ↓ Bluetooth ↓ 新規機器登録 ↓ 「○○○」と表示された番号を登録 ↓ Bluetooth/パスキー「0000」を入力 ↓ 登録した機器「○○○」を選択 ↓ 「ハンズフリー」を選択 ↓ 接続完了	メニュー ↓ ツール　設定 ↓　↓ 便利ツール　外部接続 ↓　↓ Bluetooth ↓ デバイス検索 ↓ 「○○○」と表示された番号をマイデバイスへドラッグ&ドロップ ↓ Bluetooth/パスキー「0000」を入力 ↓ 接続完了

使用方法

＊充電中は本製品を使用する事はできません。

【電源をONにする】

電源ボタンを**青色**ランプがつくまで約3~5秒押し続け、ランプがついたら離してください。（イヤホンからは電子音が鳴ります。）
ペアリングされた情報は各機器とも残りますので、本製品をONにすれば数秒後に携帯電話機が認識しそのまま使える状態になります。

＊携帯電話機が認識しない場合は携帯電話機で接続操作をしてください。
＊本製品と携帯電話機の接続状況については携帯電話機で確認してください。接続状況の確認方法については携帯電話機の取扱説明書を参照してください。

【電源をOFFにする】

電源ボタンを**赤色**ランプがつくまで約3~5秒押し続け、ランプがついたら離してください。（イヤホンからは電子音が鳴ります。）

＊電源がOFFの状態の時は電源ランプは消えたままです。

【電話をかける】

本製品からの発信はできませんので、携帯電話機から発信してください。
相手が電話に出るとイヤホンから電子音が鳴りますので、鳴った後に電源ボタンを電子音が鳴るまで長押しし、本製品に通話切替えをしてください。

＊携帯電話機の機種により携帯電話機から発信後に自動でイヤホンに切替わる機種もあります。
＊電源ボタンを長押ししても切替わらない機種の場合は携帯電話機で切替えてください。

【電話をうける】

イヤホンから着信音がしたら電源ボタンを1回押します。
（イヤホンからは電子音が鳴ります。）

【電話をきる】

電源ボタンを1回押すと通話が終了します。
（イヤホンからは電子音が鳴ります。）

【着信を拒否する】

イヤホンから着信音がしたら電源ボタンを電子音が鳴るまで長押ししてください。

【リダイヤルする】

最後にかけた電話番号へリダイヤルする場合は音量大ボタンを電子音が鳴るまで長押ししてください。

＊携帯電話機により連続してリダイヤルができない場合があります。リダイヤル機能が働かなくなった場合は時間をおいてから再度リダイヤルをしてください。

【音量を調節する】

音量を大きくする場合は音量大ボタンを、音量を小さくする場合は音量小ボタンをそれぞれ1回ずつ押して調整してください。

＊音量がそれぞれ最大・最小になった時にはイヤホンから電子音が2回鳴ります。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因	処置
電源がONにならない。	電源ONの動作をおこなってもLEDが点灯しない場合は、バッテリーの残量が不足している。	付属のDC充電器とUSBケーブルを使用し充電してください。
ペアリングができない。	青いLEDが点滅している。	青いLEDが点滅している状態は電源がONの状態です。
	ペアリングモードになっていない。	電源OFFの状態から電源ボタンを6~8秒間押してペアリングモードにしてください。
	長時間、赤と青のLEDが交互に点滅している。	正常にペアリングをおこなう状態になっていない可能性がありますので、一度設定を中止し電源をOFFにしてから改めてペアリングをしてください。
通話音量が小さい。	音量レベルが最小になっている。	ボリュームを上げてください。
通話ができない。	ペアリングが完了されていない。	ペアリングをしてください。
	携帯電話機の設定がイヤホン設定になっていない。	携帯電話機の設定を変更してください。
	着信時の操作が早い。	イヤホンから着信音がしてから電源ボタンを押してください。
	携帯電話機で発信してからイヤホンの切替えをしていない。	携帯電話機で発信後、イヤホンの切替えをしてください。
	携帯電話機から10m以上離れ、ペアリングが解除になっている。	携帯電話機から10m以内の範囲に入り携帯電話機で本製品との接続操作をしてください。
	自動電源OFF機能がはたらき本製品の電源がOFFになっている。	本製品の電源をONにしてください。
途中で通話が切れる。	鉄筋の入った壁、電子レンジなどの電気製品、放送局や無線局などが近くにある。	場所を移動して使用してください。

以上の処置をしても具合が悪い場合は事故防止の為、使用を中止しお買い上げの販売店、または当社までご相談ください。